



上田敏先生

相談会

若いKさんたちには社会復帰を目指した生き方を
後期高齢者にはその人らしく穏やかな生き方を
幅広い年齢の方の相談会でした。

Tさん (89歳)

2019年6月下旬、自宅で一人留守番中に脳卒中を発症、夕方家族が帰宅し日赤病院に緊急搬送、その後医療系リハビリ病院に転院しました。右半身麻痺、重い失語症があり鼻から経管栄養を摂っているが、無意識に経管栄養の管を抜くのでベッドに拘束されています。

上田敏先生、東京病院リハビリテーション科新藤直子先生、葛茂木稔理事長の協力を得て診察・検査の結果、麻痺は軽度なので補助具を使って歩く、嚥下が厳しいので胃ろうして、拘束を外し、10年以上専ら続けていた麻雀ボランティアを目標にリハビリ計画をたてました。専らディでは今も胃ろうの人を受け入れ入浴介助も行って居り、退院後専らTさんらしい日々をやすらかに過ごすことを目指しています。

Kさん

ご夫婦で近況報告にいられました。B型作業所パンの工場で、パンのショーカードを描き見事な出来栄で大好評だったこと、介護の奥様も元気を取り戻され、ご夫婦共々元気でした。

Kさん

埼玉からお母様と来られました。子供の時に交通事故で高次脳機能障害になり、いじめや勉強で苦労されながらも大学を卒業、就職、退職、今は職業能力開発校に通学中。お母様は埼玉で家族会を設立、当事者のために頑張っておられます。

Sさん

母親の立場で相談・報告でした。長女がくも膜下出血で倒れ、慈恵医大病院渡邊修先生、ケースワーカーの支援で順調に回復、地元の障害者就労移行支援事業所の世話で、最寄りのスーパーに就職、お母様は働きながら障害者の生活支援相談員を目指して勉強中です。

2019年8月31日
東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会

高次脳機能障害の回復を促す

基調講演 発達障害と高次脳機能障害

講師 橋本圭司氏

今どのような支援が必要なのか
リハビリテーション成功のコツについて
地域の取り組み

NPO 法人 VIVID (ヴィヴィ) リーディング劇
NPO 法人 調布ドリーム「グループリハビリ」
レジリエンス「高次脳機能障害のある方の就労支援
語り」と歌「交通事故による記憶障害を乗り越えて
～歌う喜び～」

芹洋子氏「四季の歌」他

参加者：いちごえ会会員計 10 名。



障害者デー 2019年12月3日

「障がい」ってなんだろう？ だれもが安心して暮らせる 小金井を考える

小金井市地域自立支援協議会による DET
(障害平等研修) が宮路楽器ホールで行われ盛況
でした。

会場でいちごえ会の
タペストリーを展示、
会報など資料を配布、
関心を集めました。



いちごえ会タペストリー展示

「見えない障害」を理解する
～高次脳機能障害とは～

講師 上田 敏 先生

萌え木ホール

小金井市前原 3-33-25

問い合わせ 042-381-8811 木村・石川

会費
無料

2020
2.22 土
13:30～
16:00

かしのきひの研修会

高次脳機能障害当事者の将来へ向けて

～いちごえ会の設立から今後の

取り組みについて～

講師 増村 幸子氏

日野市立多摩平交流センター 集会室 6

日野市多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館内

2020
3.8 日
13:30～
16:30

寒中お見舞い申し上げます 高次脳機能障害者小金井友の会 いちごえ会

たより 24号 2020年1月15日発行

発行責任者：増村幸子
編集者：村田雅英
イラスト・編集：しげもりきょうた
漫画：河村克己
〒184-0004
小金井市本町 2-20-9-103
ホームページ：http://ichigoe.org/
メール：info@ichigoe.org



第20回交流会

2019年8月25日
萌え木ホール



令和初、新運営委員会初の交流会を開催しました。久しぶりの方、初めての方は緊張気味でしたが、すぐに和やかな雰囲気になりました。交流会オープニングソング「幸せなら手をたたこう」を松嶋有香さんのギター伴奏・山下晃司さんのリードで合唱しました。

第1部 自己紹介

言葉が出やすい方、出にくい方、緊張気味の方、それぞれ、ゆっくりと自分流で、近況と目標を話され、笑顔と拍手に包まれました。

子供さんの自己紹介では女兒は恥じらいながら、また活発な男児は大声で、名前と年齢を発表し、笑顔が溢れました。

最近では若い方の参加が増え、子育ての相談もちらほら、にわか好々爺ぶりを発揮、まさしく高次脳機能障害者の家族会でした。

第2部 思い出

8人一組で4班に分かれ、悩みや楽しかったことを話し合いました。

Sさんが9月から近くのスーパーで働くことが決まり、祝福と激励の拍手が沸き起こり、お母さんは感激の涙で声が出ませんでした。

Hさんは夜店の綿飴が大好きで、綿飴の追っかけしている、さらに好きが高じて綿飴づくりに挑戦、綿飴が手やまつげについて難儀したことなど愉快的な話に盛り上がりました。



こうじのうきのうしょうがい
のかいはたのしいね。

子供の声に次代のいちごえ会は安泰ですね。



中央大学緑川ゼミ
博士前期課程2年
濱本加奈子さん

介護する家族の「心理的支援のニーズ」についてアンケートの協力を求められ、会場の介護者に一人一人丁寧に説明後、用紙を手渡しました。今後は在宅支援のあり方について研究論文を作成される予定です。我々介護する家族の負担の軽減に理解と支援を期待しています。



第21回 交流会 2019年12月21日 前原 暫定会場



お正月 河村克己

みんなが
ONE・TEAM
今年も楽しかったネ!



第一部 みんなの自己紹介!

今年もまたまたクリスマス! どなたかいるかな? 名前や当事者、家族などの立場、お住まい等から今までのクリスマスの思い出や、もらって嬉しかったプレゼント、今年がんばってきたことでワイワイ盛り上がりました。



第二部 楽しい中央大学生のレクリエーション!

サポーターは緑川ゼミ生7名、4チーム対抗戦「箱の中身はなんだろう」会場の皆さんには中身が見える箱で、挑戦者が手さぐりで当てるゲームでした。手が届かなくなる子供には、ゼミのお兄さんがさりげなくサポートしほほえましい風景でした。「イラスト当て」ゼミ生が描き始めると、すかさず当てる子供の歓声にもり上がりました。山下晃司さんがリード、松嶋有香さんのギター伴奏でクリスマスソングを合唱しました。子供達の大活躍で、楽しい交流会でした。



第16回 茶和会 第15回



望月初美
会長挨拶

この会で勇気・励ましを受けました 今後も助け合いましょう

2019年11月9日



Sさん 今回大手不動産会社に転職、カウンセラーの資格を生かし、「辞めない社員」の育成と高次脳機能障害の理解を広めます。
Sさん 最寄りのスーパーで働くことになり、自分流の働き方を会社と相談し、身の丈に合った働き方ができて嬉しいです。
Sさん 息子が生活訓練施設に入所、まだまだ課題が残っていますが一生懸命がんばっています。
Mさん 夫が小金井公園の植物で、趣味の苔庭づくりに没頭しています。

Sさん 増村に初月給のプレゼント、優しい心使いに増村をはじめ全員がウルウル。



2019年8月10日



Iさん 小金井市から高次脳機能障害者相談支援事業を障害者福祉センターが受託し担当になりました。お役に立てるよう頑張ります。
Sさん 会社の公用語が英語になり、自分に合う会社へ転職し、自分らしく働きたいです。
Kさん 獨協医科大学院生で高次脳機能障害を勉強し看護師として働きます。
Kさん 生活に落ち着きと安定の兆しが見えてきました。
Mさん 初めて参加、日頃の想いを精一杯話し、共感を得ました。

夫は脳出血で一時は危篤を告げられながら奇跡的に回復、発症後約2年で元職場に復帰を果たせた一方で左半盲、注意、遂行機能他高次脳機能障害をかかえています。働いてみて仕事上の困難、人間関係、喪失感等乗り越えて行かねばならない多くの課題が有り、本人が一番辛いのですが再発の危惧も含め、家族

ゆえの大変さを味わう日々です。先日も水道の漏れにイラつき、力まかせに叩いた為、築50年の老朽わが家の水道栓が外れ、噴水の様に吹き出してんやわんやの大騒動、結果台所は使用不能—そんなドタバタの毎日の中で、少しでも笑っていただける自分たちになれたらと〜。やっと参加できた茶和会で、皆様の温かさに触れホッと一

息でした。自分が元気でないと…を実感する癒しの一時でした。『家族会』? 愚痴って飲んできて来ないでねと絶好調の夫は、もう大丈夫と安心したようです。交流会の参加は難しそうですが、又皆様の輪に加えて頂きたくよろしくお願ひします。
源 葉子 記



増村幸子
絵 しげもりきょうた



2019年10月19日
初参加のNさんは埼玉在住の弟さんの現状を熱心に話され、全員が経験をもとにピアカウンセリングしました。

弟さんは埼玉の或るリハビリテーションセンターを退所、自宅でパソコンの自主トレ中。地方では十分な医療・行政サービスの情報が乏しく、参加者の小金井市障害者福祉センター高次脳機能障害相談員の石川敦子さんが熱心にアドバイスしました。Nさんと弟さんは近々、上田敏先生の相談を受けることになり、全員安堵しました。参加者数名。